

フォーリーイチョウゴケ

Lophozia guttulata (Lindb. & Arnell) A.Evans

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

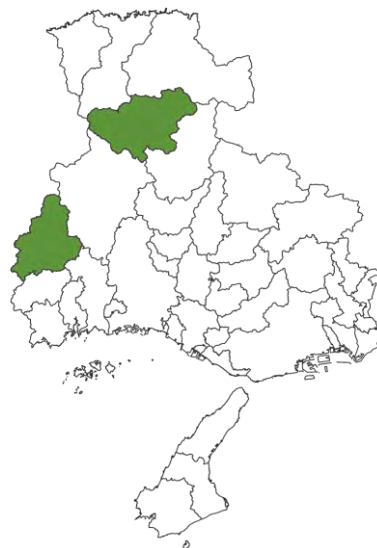
佐用町、養父市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	○
				希少	



■ 特記事項

2018年の調査で佐用町での生育を確認した。本種を *Lophozia ventricosa* (Dicks.) Dumort. var. *longiflora* (Nees) Macoun の異名とする見解もある。旧和名フォーリーイチョウウロコゴケ。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

植物体は緑色から黄緑色。茎は長さ1cm。葉はゆるく重なり、長さ0.6-1mm、幅0.4-0.7mm、1/4-1/3までV字形に2裂し、裂片は三角形で鋭頭。腹葉はない。葉身細胞は薄壁、トリゴンが大きく、表面が平滑。油体は各細胞に20-30個、球形から楕円体、微粒の集合。雌雄異株。花被は長卵形で上部は多稜、亜高山帯以上の倒木、腐植土上に生育するが、兵庫県では産地が限定される。